

国際交流基金賞

国際交流基金では、1973年以来毎年、学術、芸術、その他の文化活動を通じて、国際相互理解の増進や国際友好親善の促進に特に顕著な貢献があり、引き続き活躍が期待される個人、団体に「国際交流基金賞」を授賞し、国際文化交流の発展を奨励しています。

2008年度より国際交流基金賞と国際交流奨励賞を統合し、「文化芸術交流部門」「日本語部門」「日本研究・知的交流部門」の3部門で国際交流基金賞を授賞しています。

2009年度 受賞者



文化芸術交流部門

ボリス・アクーニン

Boris Akunin

[本名：グリゴリー・チハルチシヴィリ]

ロシア

作家

ロシアのベストセラー作家。日本文学研究者・翻訳者として、日本文学をロシアに紹介するとともに、推理小説シリーズをはじめとする多彩な執筆活動において日本文化の紹介に貢献し、また、ロシアを代表する文化人のひとりとして日露文化交流に貢献している。

受賞記念講演会「観察者の目——ロシアは日本をどう見ているのか」：2009年10月9日、東京大学本郷キャンパス法文2号館にて。東京大学スラブ語スラブ文学／現代文芸論研究室との共催



日本語部門

全米

日本語教師会連合

Alliance of Associations of Teachers of Japanese[AATJ]

米国

代表：スーザン・シュミット
[事務局長]

米国の日本語教育団体。全米規模の日本語教育団体の連合体として、各団体の活動の調整を行なうとともに、研修事業や情報交流事業を実施することによって、初・中等教育段階から高等教育段階におよぶ米国における日本語教育の発展に大きく貢献している。

受賞記念講演会「アメリカにおける日本語教育とAATJの活動」：2009年10月9日、国際交流基金 日本語国際センターにて



日本研究・知的交流部門

アーサー・ストックウィン

James Arthur Stockwin

英国

オックスフォード大学
日産日本問題研究所前所長

英国を代表する日本研究者。現代日本政治の研究において優れた業績を挙げ、英国における日本研究を促進するとともに、オックスフォード大学日産日本問題研究所前所長として対日理解の促進と日英の学術交流に大きく貢献した。

受賞記念講演会「英国という鏡に映る日本の政治」：2009年10月7日、国際文化会館にて。財団法人国際文化会館との共催

地球市民賞

2009年度 受賞者

地球市民賞は、地域・コミュニティに根ざし、かつ先導的なモデルとなる国際文化交流活動を顕彰することを目的として、1985年に「国際交流基金地域交流振興賞」として創設され、2005年に「国際交流基金地球市民賞」と名称を改めました。これまで理事長特別表彰1団体を含め76件の個人ならびに団体に授賞しています。

自然生クラブ



ベルギー公演(2009年) Photo: muriel thies

1990年から茨城県筑波山麓を拠点に知的ハンディのある人を含む「組織体」をつくって環境保全型農業を営み、表現する活動を展開。海外から障がいのあるアーティストを招くなどの国際文化交流を行っている。

浜松NPOネットワークセンター



ミュラル(大壁画)制作風景(2003年)

人口の約4%弱、3万人が外国人という、全国有数の外国人集住都市である静岡県浜松市で、1998年より多文化共生事業に取り組む。教育、医療、アートを3つの柱に、人々をつなぐ「ネットワーク」をめざしている。

グリーンバレー



アーティストのカリンさんの作品より(KAIR2008)

アートを柱に過疎化地域が生き残るためのグローバルな地域活性化を図っている。海外アーティストを招く神山アーティスト・イン・レジデンス(KAIR)事業、アートの森整備事業など、2004年から徳島県神山町で活動を展開。